

SB-3272 (政治学)

December 2025

★ 政治学：一年の必携書をまとめてご案内★

政治学重要タイトル総集編 2025
Politics Key Titles 2025

本カタログでは最近一年間の新刊タイトルを中心に、政治学の研究・教育に必須というべき重要レファレンスを精選してご案内しています。ぜひ図書館・研究室の蔵書充実にお役立て下さい。

政治理論

政治マーケティング・ハンドブック

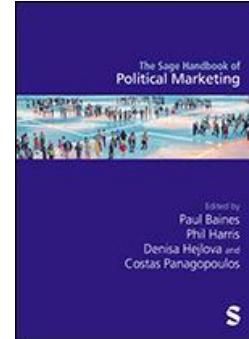
1. Baines, Paul (ed.)/ Harris, Phil (ed.)/ Hejlova, Denisa (ed.)

The Sage Handbook of
Political Marketing.

2025/08 648 p. (Sage) -GB- ISBN 9781529609707

GBP 135.00

Web 販売価格￥30,796 (税込) / 標準価格￥41,283 (税込)



政治マーケティングは、20世紀から21世紀にかけて大きく進化し、マスメディア、マーケティング・コミュニケーション、広告、インターネットの台頭に適応してきました。近年では、AIを活用した有権者個人別メッセージ発信と同時にエンゲージメント・感情分析が行われています。

本書は、グローバル化とローカル化が同時進行する現代世界における政治マーケティングの理論と実践を示す包括的なレファレンスです。全38章にて、政治マーケティングに関するグローバルな視点を示し、多様な文脈、文化、政治体制を網羅しています。ジンバブエ、日本、インド、香港、ウクライナといったこれまでほとんど議論されてこなかった地域の政治マーケティングの実践を取り上げ、政治マーケティングの民主主義への影響や非民主的社會における活用について議論しています。日本については、「日本における政治的危機管理：政治コミュニケーションの視座から」「パンデミック・オリンピック：日本のCOVID-19危機コミュニケーション」の2章を充てています。

政治学、マーケティングの必携レファレンスとして本書をおすすめいたします。

学術洋書部

紀伊國屋書店

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
Tel (03) 6910-0531 · Fax (03) 6420-1390

〈Web 販売価格の適用条件〉

- ※ Web 販売価格(税込)は、弊社インターネット書店 Kinokuniya BookWeb Pro (<https://pro.kinokuniya.co.jp/>) でご注文され、付帯作業を伴わない納品を行い、弊社標準書式による請求書を発行し遅滞なくお支払いただく場合、あるいは、クレジットカードでお支払いいただく場合に適用される販売価格です。
- ※ 為替レートの変動、出版社の都合により価格は変更されることがあります。

(続) 政治理論

2 1世紀の新たなポピュリズムと反応百科事典

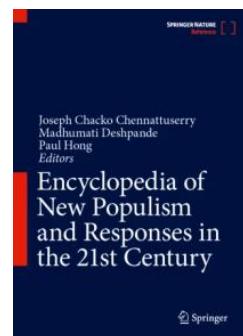
2. Chacko Chennattuserry, Joseph (ed.)/ Deshpande, Madhumati (ed.)/
Hong, Paul (ed.)

Encyclopedia of New Populism and Responses in the 21st Century.

2024:11 1,081 p. (Springer) -DE- ISBN 9789819978014

EUR 599.99

Web 販売価格 ￥117,794 (税込) / 標準価格 ￥159,716 (税込)



21世紀の世界でソーシャルメディアの普及も相俟って、グローバルかつ急速に影響力を拡大している「新たなポピュリズム」は、しばしば変革への胎動だけでなく民主主義への脅威としても語られます。しかしながら、これほどまでに今後の世界の帰趨に影響する現象でありながら、「新たなポピュリズム」の分析は、個々の国や分野の枠内にとどまっています。

本書は、分野も地域も越える「新たなポピュリズム」研究の総合的なプラットフォームとなるべく、米国とインドの大学の研究者がタッグを組んで学際的かつグローバルな顔ぶれの寄稿者を結集して、243項目の事典を実現したものです。芸術・文化・宗教・金融・経済・都市政策・デジタルメディア・アクティヴィズム・ジェンダー・民主主義の未来などの境界を越えるテーマ設定で、21世紀ならではのポピュリズム現象の理解に必要な、フレッシュかつ包括的なアプローチを提示します。日本関連では、「DX時代のポピュリズムとイノベーション戦略：日本の事例」「日本におけるソフト・ポピュリズムの可能性」の項目を含みます。

第二次トランプ政権誕生でざわつく世界に必携のレファレンスとして、おすすめいたします。

批判的白人性ハンドブック：**分野を越える支配的言説の解体（全2巻）**

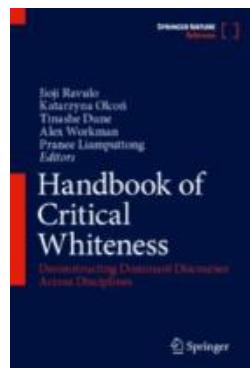
3. Ravulo, Jioji (ed.)/ Olcoń, Katarzyna (ed.)/ Dune, Tinashé (ed.)

Handbook of Critical Whiteness : Deconstructing Dominant Discourses Across Disciplines.

2024:11 2 vols. 1,367 p. (Springer) -DE- ISBN 9789819750849

set EUR 649.99

Web 販売価格 ￥127,611 (税込) / 標準価格 ￥173,026 (税込)



この世界ではいまだに白人中心的な価値観が根強く、多種多様な分野や制度で構造的な差別が再生産され続けているとの批判が絶えません。米国で法学から社会科学全般に広がった「批判的人種理論」は、社会とアカデミアを分断する激しい議論を巻き起こしました。「客觀性」「能力主義」「個人主義」「競争」「効率性」も白人特有の価値観であるならば、21世紀のグローバル市民社会は随處に巣食う「白人性」そのものを問い合わせ直す必要があるのかもしれません。

本書は、「批判的白人性理論」に基づく、初のハンドブックです。全2巻・全88章にわたって、分野や立場を越えて非白人・白人双方の国際的に活躍する研究者を結集し、国家・人種間の格差解消への壁となっている「白人性」を問い合わせ直します。全10部構成の本書は、まず理論的に、イデオロギーおよび権力構造としての「白人性」言説の起源と影響、その拡散のしくみを解説および脱構築するとともに、「アカデミア」「教育」「刑事司法」「対人援助職」「STEM」「人文・社会系」「コミュニティ・人道開発」といった広汎な分野における「白人性」を検証し、最後に真に脱人種差別・脱植民地化された世界へと再構築するためのアプローチを示します。共編者には、邦訳書『質的研究法：その理論と方法：健康・社会科学分野における展開と展望』で知られるプラニー・リィアムプットーンも加わっています。

日本も問われる差別への取り組みの先進的事例の参考レファレンスとして、おすすめいたします。

【各巻構成】

Volume 1

Part I Deconstructing and Decoding Whiteness / Part II Whiteness in Academia / Part III Whiteness in Education / Part IV Whiteness in Criminal Justice Systems / Part V Whiteness in the Helping Professions

Volume 2

Part VI Whiteness in STEM / Part VII Whiteness in Humanities, Arts and Social Sciences (HASS) / Part VIII Whiteness in Sports and Recreation / Part IX Whiteness in Community and Humanitarian Development / Part X Reconstructing with Purpose and Equity

■全明細は、紀伊國屋書店ポータルサイト「教育と研究の未来」をご覧ください。

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/catalog/handbook-of-critical-whiteness>



教育と研究の未来

読み、学び、究めるひとと組織を支援する

Kinokuniya MIRAI - Portal for Research & Educational Resources

政治とジェンダー国際百科事典（全4巻）

4. Roberts, Lia K. (ed.)

The Sage International Encyclopedia of Politics and Gender.

2025:11 4 vols. 1,520 p. (Sage) -GB- ISBN 9781071918487

★ 刊行記念特価 10% off : set GBP 551.00 (2026年1月15日まで)

Web 販売価格￥125,698(税込) / 標準価格￥168,495(税込)

※通常価格 : set GBP 612.00

Web 販売価格￥139,614(税込) / 標準価格￥187,149(税込)



政治とジェンダーは、近年ますます多くの注目と議論を呼ぶテーマです。ジェンダーに関連する政策（例えば妊娠中絶の制限や LGBTQ の権利の法制化）と、政治活動におけるジェンダー（例えば女性の政治参加とリーダーシップ）との両面で、あるいは世界的に勢いを増す右派ポピュリズムからの攻撃も含めて、ジェンダーが政治の俎上に上らない日はないと言っていいでしょう。

本書は、社会科学で著名な出版社セイジが満を持して送る、政治とジェンダーの関係を考えるための最新にして最も包括的な決定版レファレンスです。全4巻にて、第一線の研究者たちが執筆した500~600項目をアルファベット順に収録します。グローバルかつ学際的で、近年の社会科学全般に広がる、ジェンダーのみならず人種や階級などの複数の要因が絡み合って構成される権力関係をとらえる概念「インターフェクショナリティ」(交差性)の視座を取り入れているのも特色です。各項目の語数は概ね1500~3000語ですが、基礎的トピック(foundational topic)の項目は5000語の長文解説となります。

政治学、国際関係論、社会学および人文・社会科学全般に広がるジェンダー研究プログラムにおいて学生から研究者まで最新の国際的水準を共有できる基本図書として、本書をおすすめいたします。

【基礎的トピック項目例】

- ・国際安全保障とジェンダー：ジェンダーと戦争、人身売買、軍国主義、テロリズムなど
- ・国際関係とジェンダー：ジェンダー主流化、女性差別撤廃条約、エコフェミニズムなど
- ・比較政治：政治参加、政治代表性、立法過程の関連分野に焦点。具体的には、ジェンダー・クオータ、政治参加・リーダーシップにおけるジェンダー格差、インターフェクショナリティ（および政治参加と政治代表性における障壁）、ニ・ウナ・メノス運動（スペイン語で「一人も減らしてはならない」を意味するラテンアメリカ発のフェミニズム運動で、女性に対する暴力、特にフェミサイドに反対）、トランスジェンダー関連の法整備

政策研究

世界格差百科（全2巻）

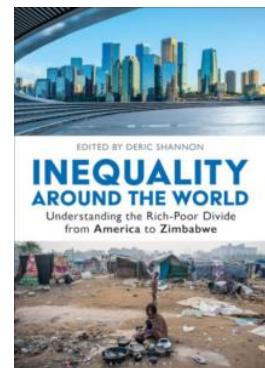
5. Shannon, Deric (ed.)

Inequality around the World : Understanding the Rich-Poor Divide from America to Zimbabwe.

2025:02 2 vols. 652 p. (Bloomsbury Academic) -GB -
ISBN 9781440876714

GBP 190.00

Web 販売価格￥44,276 (税込) / 標準価格￥58,102 (税込)



国内的にも世界的にも拡大し続けていると言われる「格差」は、私たち同じ人間の間でも「分断」を促される状況であり、国連の SDGs でも SDG 10 「国や人の不平等をなくそう」がうたわれていますが、なお多くの課題が指摘されています。

本書は、世界・各国・地域にわたって問題になっている社会経済的な「格差」が、いかにして生じ、どこまで広がったか、その政治・文化的な背景も含めて理解するために、格好のテーマ別の事典です。全 33 章にて、分野を越える専門家たちが、主要各国・地域を比較対照しながら、「医療」「環境」「市場」「住宅」「障害」「女性の権利」「性的指向」「年齢」等々、アルファベット順に各テーマを解説します。編者 Deric Shannon は、コンビニ店員などを経て格差や社会運動を研究する社会学者となりました。

学生が格差問題について調べ考える際にまず活用できる基本図書としておすすめいたします。

【収録項目】

Introduction/ Age and Aging / Antisemitism / Borders / Colonialism / Crime / Disability / Drug Policy / Environmental Harm / Fascism / Food Insecurity / Globalization / Healthcare / Higher Education / Homelessness and Shelter Insecurity / Human Rights / Inflation / Land / Markets / Mental Health / Political Representation / Public Health / Race and Racism / Recessions and Depressions / Sexual Orientation and Gender Diversity / Social Movements / Sports / The State / Unionization / Urbanization / Usury / Water Access / Women's Oppression

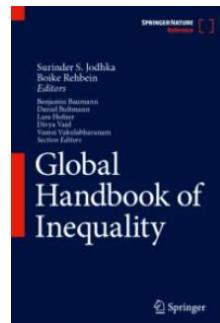
グローバル格差ハンドブック（全2巻）

6. Jodhka, Surinder S. (ed.)/ Rehbein, Boike (ed.)

Global Handbook of Inequality.

2024:11 2 vols. 1,894 p. (Springer) -DE- ISBN 9783031321511
set EUR 499.99

Web 販売価格￥98,161 (税込) / 標準価格￥133,096 (税込)



人類が歴史的に抱えてきた不平等ないし格差の問題は、グローバル化が進んだ現代世界においても、1%の富裕層と 99% の貧困層の分断に抗議する運動が各地で巻き起こったり、経済学者トマ・ピケティによる格差拡大のメカニズムの研究が一般的にも関心を集めなど、ますます切実感を増しています。国連の持続可能な開発目標 (SDGs) にも目標 10 「人や国の不平等をなくそう」が含まれていますが、それには分野や地域を越える取り組みが必要となります。

全 2巻の本書は、社会科学全体で格差問題を考える際に最初に参考すべき百科事典的な書物として、企画されました。全 87 章にわたって、格差にまつわる種々の理論的系譜、概念、方法、議論を網羅し、さらに、ヨーロッパ、中東、アフリカ、南北アメリカ、東南アジア、インド、中国、日本に及ぶ幅広い地域における格差の状況を概観する、真に学際的かつグローバルな包括的レファレンスとなっています。眞田貴絵・立命館アジア太平洋大学助教が「日本における社会的格差研究の小史」の章を寄稿しました。本書は、経済・計量的な側面とともに、世界各地の人々にとってリアルな格差の体験を強調します。

社会学・政治学・経済学で共有すべき格差研究の決定版ハンドブックとして、おすすめいたします。

【各巻構成】

Volume 1

Section I: Thinkers and Theories / Section II: Dimensions and Methods / Section III: Frames of Reproduction

Volume 2

Section IV: Social Organisation, Contestations and Change / Section V: Economic Process and World Regions

■全明細は、紀伊國屋書店ポータルサイト「教育と研究の未来」をご覧ください。

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/catalog/global-handbook-of-inequality>



教育と研究の未来

読み、学び、究めるひとと組織を支援する

Kinokuniya MIRAI - Portal for Research & Educational Resources

国際政治

難民研究百科事典（全2巻）

7. Espiritu, Yen Le (ed.)

The Sage Encyclopedia of Refugee Studies.

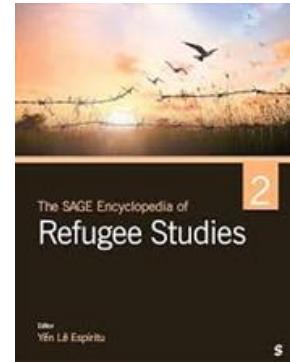
2025:11 2 vols. (Sage) -GB- ISBN 9781071919361

★ 刊行記念特価 10% off : set GBP 299.00 (2026年1月15日まで)

Web 販売価格￥68,209 (税込) / 標準価格￥91,434 (税込)

※通常価格 : set GBP 332.00

Web 販売価格￥75,738 (税込) / 標準価格￥101,525 (税込)



今日も世界各地で続く難民と強制移住の悲劇は、21世紀の最も深刻な課題の一つといえるでしょう。2020年時点で、7千万人以上の人々が、さまざまな事情で故国を追われ、難民あるいは難民申請者、国籍喪失者の状態にとどまっていました。実に2秒に1人の割合で、国家規模の紛争ばかりではなく、地球規模の気候変動や感染症の影響によっても、国外退去を余儀なくされる人々が発生し続けています。近年、先進諸国においては、移民・難民に対する世論が厳しくなる傾向がありますが、今あらためて、分野を越えるこの重大な人道問題に対する意識を新たにしておく必要があるでしょう。

社会科学で著名な出版社セイジが満を持して送る本書「難民研究百科事典」は、全2巻、250以上の項目にて、難民研究の最新の風景へと案内します。3つの大きなテーマ「法・政治・政策」「人道主義と人道支援機関」「メディア・文化・ストーリーテリング」を軸として、移民研究、先住民研究、批判的人種研究、環境学、社会学、政治学、法学、人類学、芸術を含む広大な学問分野の境界を越える知見を結集しました。研究者と当事者から成るフォーラムである「批判的難民研究コレクティブ」のメンバーが編集を担い、難民問題を帝国主義、人種差別、軍国主義や家父長制と関連する論点からも検討します。学術的な分析はもちろん、当事者性も重視し、難民自身の声や生きられた経験、個人としての表現を、一人称のナラティブや「視覚的ストーリーテリング」といった手法を交えて共有するのも特色です。

世界的に紛争がおさまらない一方で排外主義の機運が強まり、難民の生命と人権が危惧される時代に、分野を越えて共有すべきレファレンスとして、本書をおすすめします。

■全明細は、紀伊國屋書店ポータルサイト「教育と研究の未来」をご覧ください。

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/catalog/the-sage-encyclopedia-of-refugee-studies>



教育と研究の未来

読み、学び、究めるひとと組織を支援する

Kinokuniya MIRAI - Portal for Research & Educational Resources

ラウトレッジ版 国際機関ハンドブック（第2版）

8. Reinalda, Bob (ed.)/ Louis, Marieke (ed.)

Routledge Handbook of International Organization.

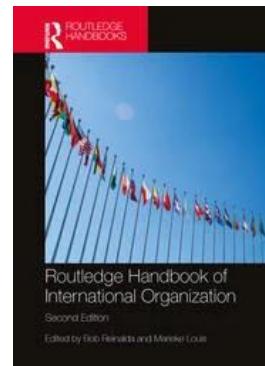
2ND 2024:12 666 p. (Routledge) -GB- ISBN 9781032540696

☆在庫特価 10% off : GBP 193.50

Web 販売価格￥46,040 (税込) / 標準価格￥59,172 (税込)

※通常価格 : GBP 215.00

Web 販売価格￥51,156 (税込) / 標準価格￥65,747 (税込)



ますますグローバル化する国際社会で、国連や EU をはじめとする国際機関の理解は不可欠です。

本書は、国際機関の内外の複雑な力学に、政治学・国際関係論、経営学・組織研究、社会学、国際法といった分野を越えて迫った好評ハンドブック (ISBN 9780415501439) の11年ぶりの全面改訂版です。初版の全38章から全46章に増補し、新たな章では、人類学的な視座、女性の進出、デジタル化の課題、アジアの国際組織の事務総長とスタッフの役割（湯澤武・法政大学教授共著）などを取り上げています。

国際社会を動かすアクターあるいは多文化共生の場としての国際機関の未来を探るために必携です。

【各部構成】

PART I: Documentation, sources and perspectives

PART II: International secretariats as bureaucracies

Part III: Actors within and beyond international bureaucracies

PART IV: Processes within and beyond international bureaucracies

PART V: Challenges to international organizations

■全明細は、紀伊國屋書店ポータルサイト「教育と研究の未来」をご覧ください。

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/catalog/routledge-handbook-of-international-organization-2nd>



教育と研究の未来

読み、学び、究めるひとと組織を支援する

Kinokuniya MIRAI - Portal for Research & Educational Resources

軍事・安全保障・平和研究

平和・紛争研究ハンドブック

9. Carter Hallward, Maia (ed.)/ Kim, Ji Eun (ed.)/ Mouly, Cécile (ed.)

The Sage Handbook of Peace and Conflict Studies.

2025:06 592 p. (Sage) -GB-

ISBN 9781529667752

GBP 135.00

Web 販売価格￥30,796 (税込) / 標準価格￥41,283 (税込)



第二次世界大戦終結から80年にあたる2025年においてもなお紛争や暴力は存在し続け、世界平和の実現に向けて解決すべき課題が山積しています。

本書は、グローバルかつ学際的な視座から暴力、紛争、平和の複雑性を包括的に探るレファレンスです。全50章にて、伝統的な西洋中心のアプローチにグローバルサウスの視座も統合することで、平和と紛争研究のより包摂的な理解を助けます。本書は、直接的暴力のみならず構造的・文化的暴力にも焦点を当て、ジェンダー、人種、文化、グローバル・ヒストリー、政治経済を強調する批判的・脱植民地的アプローチを前景化します。脱植民地性、人種、ジェンダー、権力格差といったトピックを統合した現実世界の事例研究を示し、ロシア・ウクライナ戦争に関する章を収録します。日本からは、秋林こずえ・同志社大学教授が「土着性・脱植民地化・グローバル安全保障」を寄稿しています。

政治学、社会学、人類学をはじめ社会科学全般で幅広く共有できる必携レファレンスとして、本書をおすすめいたします。

【各部構成】

- Section 1: History, Knowledge, and Power in Peace and Conflict Studies
- Section 2: Theory and Analysis in Peace and Conflict Studies
- Section 3: Practices and Approaches in Peace and Conflict Studies
- Section 4: Global Issues, Institutions, and Change in Peace and Conflict Studies
- Section 5: Case Studies

シプリ年鑑（2025年版）

10. Stockholm International Peace Research Institute

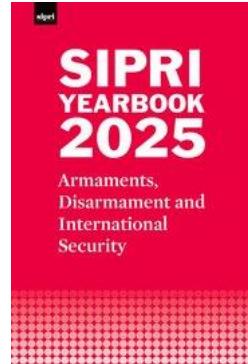
SIPRI Yearbook 2025 : Armaments, Disarmament and International Security.

2025:09 552 p. (Oxford University Press) -GB-

ISBN 9780198979791

GBP 100.00

Web 販売価格￥24,530 (税込) / 標準価格￥30,580 (税込)



ストックホルム国際平和研究所 (SIPRI) は、1966年にスウェーデンの150年にわたる非戦の歴史を記念して、スウェーデン議会の資金援助の下に設立された研究機関です。同研究所は世界の優秀な科学者を集め、一切の外部の干渉から独立して運営されています。その研究方針は、緊急を迫られている国際関係上の諸問題、特に軍縮問題を pragmatique な立場から分析することにあります。

当年鑑が提供するデータの客観性・信頼性は、世界中の研究者から高い評価を得ています。毎年最新版を欠かさずご購入されますよう、お薦め申し上げます。

2025年版（第56版）は2024年のデータが含まれています。世界全体および各地域の武力紛争と紛争管理、平和活動の概観、ヨーロッパと中東における紛争の拡大と現在も続く地政学的緊張の影響を受けた各国の軍事支出、国際武器移転、武器製造の発展、ミサイルと無人航空機の拡散、特にロシアーウクライナ戦争におけるその使用、核兵器保有9カ国における核兵器の最新化および核ドクトリンの変化と核共有の発展、核軍備管理をめぐる米国、ロシア、中国の戦略対話、ウクライナの原子力発電所攻撃、武器生産に関する詳細なデータと考察、化学および生物学兵器への対処に関する詳細な情報、非人道的武器の使用に関する規制、自律型兵器システムに関する人工知能、サイバースペース、宇宙安全保障の国際的ガバナンス、さらに、武器貿易条約（ATT）、多国間武器禁輸措置、輸出管理体制、EUの法的枠組み等、武器貿易管理に関する情報も提供されています。

*継続でのご注文も承ります。★継続ご注文番号（シリーズID）: 8110037987

*オンライン版もございます。（年間購読／買切、IPアクセス、同時アクセス数無制限）

世界軍事バランス（2025年版）

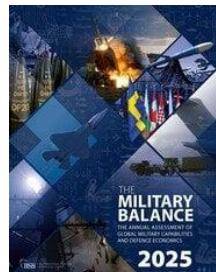
11. The International Institute for Strategic Studies (IISS)

The Military Balance 2025.

2025:02 531 p. (Routledge) -GB- ISBN 9781041049678 pap.

GBP 650.00

Web 販売価格￥154,661 (税込) / 標準価格￥198,770 (税込)



1959年以来、60年以上にわたって毎年刊行されてきた、軍事・安全保障分野では著名な年鑑です。中立的な立場からの調査・研究活動や政策提言で知られる英国のシンクタンク「国際戦略研究所（International Institute for Strategic Studies；通称 IISS）」が、世界各国・地域の軍事トレンドを詳細なデータと図解とともに届けます。

2025年版（第66版）も、世界170ヶ国以上の軍備、軍事支出、防衛政策にわたる最新の情報と分析を提供します。2022年から引き続くロシアのウクライナ侵略の状況、中東ではイエメンのフーシが使用している各種の巡航・弾道ミサイルなど、各地域の懸念も取り上げます。付属の大型図版では、中国人民解放軍の近代化した最新状況を、特定の部隊の位置を含め詳細に図解します。

毎年、本年鑑の内容は、世界中の政府、軍事・防衛関係者、専門家、報道機関の注目を集めています。詳細なデータと分析に加えて、多数の地図やインフォグラフィックスを駆使して、視覚的にも情報量豊富なもの特長です。ぜひとも今年も最新の冊子体をご購入ください。

*本年鑑はオンライン版でも提供されています。詳細は、お問い合わせください。
*前版データ : *The Military Balance 2024* (2024年2月刊行) ISBN: 9781032780047

【収録明細】

Editor's Introduction / **Part 1: Capabilities, Trends and Economics** / Chapter 1: Defence and military analysis / Chapter 2: North America / Chapter 3: Europe / Chapter 4: Russia and Eurasia / Chapter 5: Asia / Chapter 6: Middle East and North Africa / Chapter 7: Latin America and the Caribbean / Chapter 8: Sub-Saharan Africa / **Part 2: Reference** / Explanatory notes / List of abbreviations for data sections / International comparisons of defence expenditure and military personnel / Index of country/territory abbreviations / Index of countries and territories

政治事情

ラウトレッジ版 現代台湾ハンドブック（第2版）

12. Schubert, Gunter (ed.)

Routledge Handbook of Contemporary Taiwan.

2ND 2024:12 646 p. (Routledge) -GB-

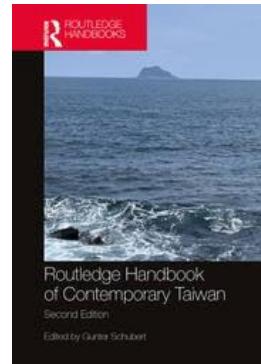
ISBN 9781032486154

★期間限定特価 10% off : GBP 193.50 (2026年3月25日まで)

Web 販売価格￥46,040 (税込) / 標準価格￥59,172 (税込)

※通常価格 : GBP 215.00

Web 販売価格￥51,156 (税込) / 標準価格￥65,747 (税込)



台湾は、中国の脅威にさらされる地政学的な重要性からも、半導体産業が集積する「シリコン・アイランド」としても、日本による植民地統治を含む日本との歴史・文化的な関係性からも、小島ながら大きな注目を集め続けています。

本書は、現代台湾をめぐる国際的研究の進展を概観できる貴重な英文ハンドブックとして好評を博した初版 (ISBN 9781138781870) から、8年ぶりの新版です。全面改訂された全35章は、台湾の歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係にわたる主要なフィールドを取り上げ、各専門家が長期的傾向から最近の変化、将来の展望を示しています。例えば広報外交やLGBTQ運動を含む近年の進展をカバーしつつ、「台湾と日本の関係？」の章を加えています。

しばしば「親日」とも言われる台湾の国際的な位置を確認するために必携のレファレンスといえるでしょう。

【収録明細】

Part 1: Political history / Taiwan in Late Ming and Qing China / Taiwan Under Japanese Rule (1895-1945) / Retrocession and Authoritarian KMT Rule (1945-1987) / Taiwan's Transition to Democracy and Beyond (1986-2024) / **Part 2: Government and politics** / Taiwan's Political Parties and Party Systems / Party Ideology / Elections / National Identity / Transitional Justice in Postwar Taiwan / Politics and the Media / **Part 3: Political Economy** / The Developmental State and Taiwan: Origins and adaptation / Taiwan and Economic Globalization / Taiwan's Mainland Entrepreneurs (Taishang) / Taiwan's New Southbound Policy / **Part 4: Society and culture** / The Development and Portrayal of Civil Society Organizations in Taiwan (1988-2023) / Indigenous Movements and Multicultural Taiwan / Taiwan's labor movement / Anti-Nuclear Power Movement / Taiwan's LGBT+ movement / Housing policy and their discontents / Immigration: Regulation and Cultural Representation / Religion and Politics in Taiwan / Modern Taiwan Literature / Contemporary Taiwan Cinema / Musical Soundscapes in Contemporary Taiwan / **Part 5: Cross-strait relations** / Cross-strait Dialogue and Policies / Cross-Strait Economic Integration and Disintegration (1992-2023) / The China factor in Taiwan: social perceptions / **Part 6: International relations and security** / Taiwan's Foreign Policy and International Space / Security Policy / Taiwan-U.S. Relations / Taiwan-Japan Relations? / Taiwan-Europe/EU Relations / Taiwan's Evolving Policies in Territorial Disputes of the East and South China Seas / Taiwan's public diplomacy since 2016